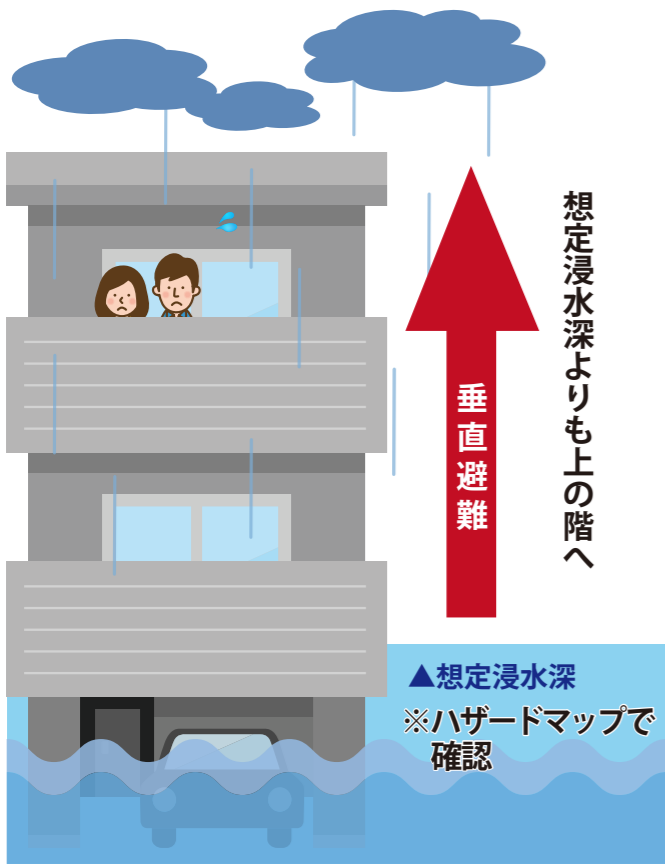
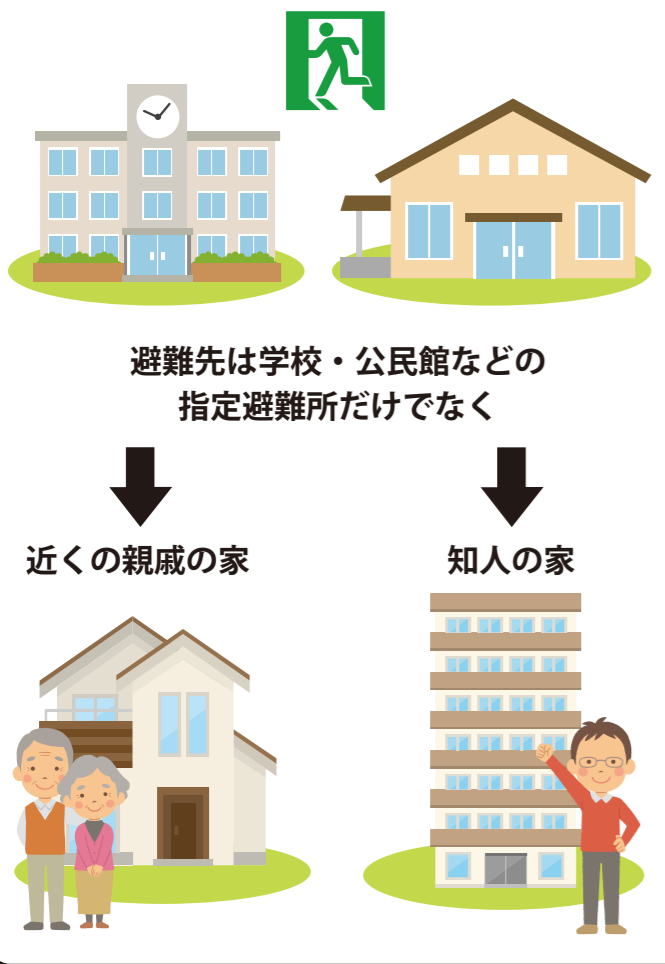


内水氾濫で外に出ることが危険な場合は
垂直避難を！



想定浸水深よりも上の階へ

▲想定浸水深
※ハザードマップで
確認

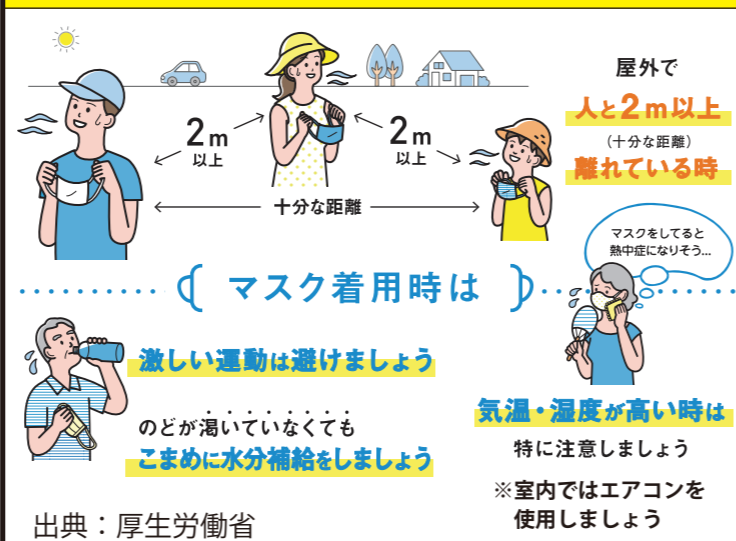


避難先は学校・公民館などの
指定避難所だけでなく

近くの親戚の家

知人の家

マスクをはずして休憩・水分補給を行い、熱中症対策！

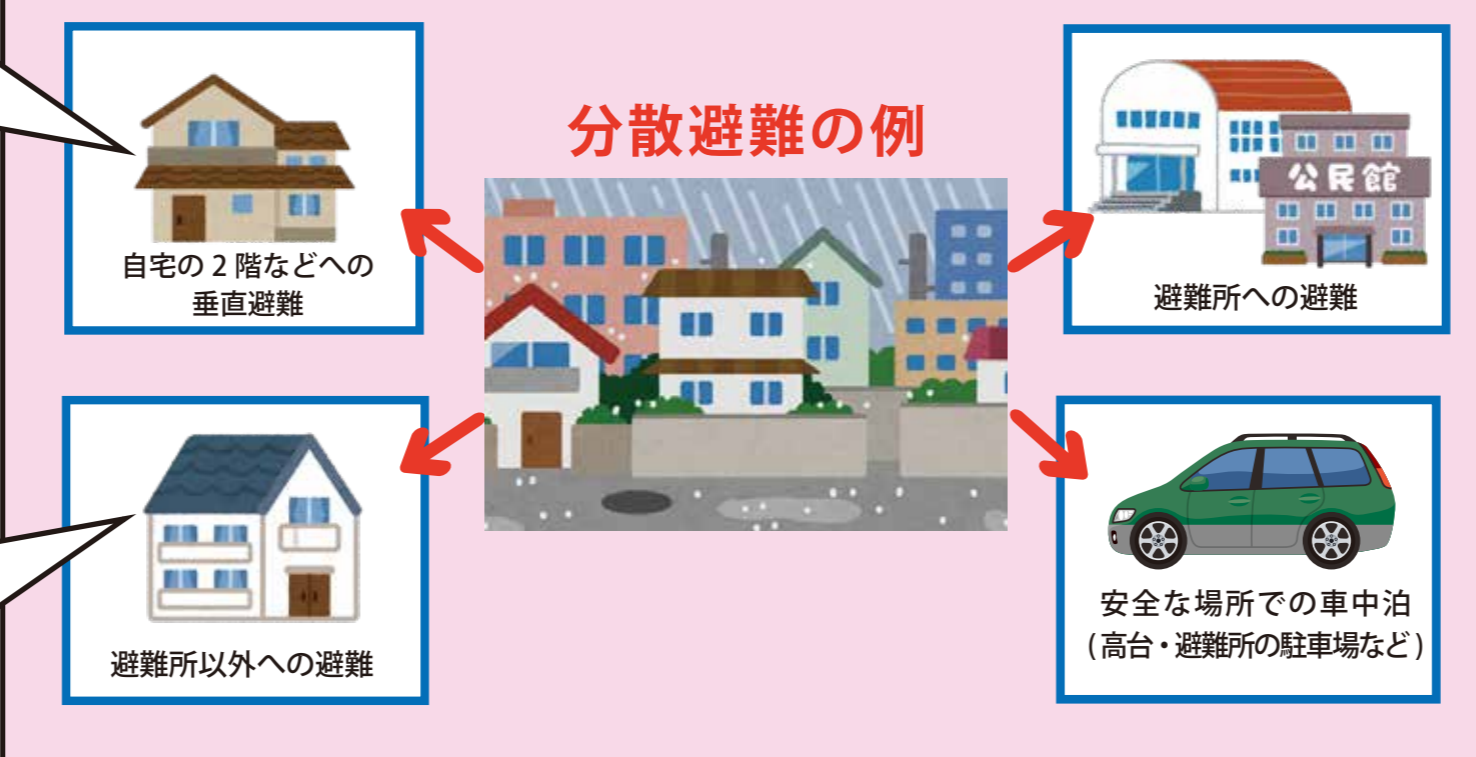


出典：厚生労働省

日ごろから健康を維持し、予防に努めましょう！



「3密」を避けるため、避難先を分散しましょう！



避難所へ避難するときの注意事項



関係機関・サイトなど情報収集先



各種ハザードマップを活用し、
自宅の状況を確認しましょう！



※自宅の被害想定を確認し、避難行動を取る際の参考にしましょう。

ハザードマップの種類



ハザードマップは市ホームページからダウンロードもできます。



非常持ち出し品を準備しましょう！

- 体温計・常備薬・マスク・消毒液・スリッパ
- 懐中電灯・ろうそく・ライター
- 缶切り・ナイフ・ひも・ビニール袋・リュックサック
- 救急医療品・筆記用具
- ラジオ・予備の乾電池
- 飲料水・食料 (保存がきき、加工せずに食べられるもの 2~3日分)
- 現金・印かん・預金通帳・有価証券等の貴重品
- 下着・毛布・タオル・ティッシュペーパー

